

幸田町	所属議員	田境 毅
-----	------	------

産業目線

【活動選定項目】	①カーボンニュートラル(CN)への対応	
具体的取り組み項目	<p><b>次世代自動車の普及促進</b></p> <p>・令和4年策定予定の「第2期幸田町環境基本計画」へカーボンニュートラル実現に向けた具体的項目および数値目標を反映する</p>	
前回まで 活動状況	<p>・次世代自動車導入やインフラ整備を中心に、町のカーボンニュートラルに対する考え方や実態と課題など共有し確認など</p>	
今回 具体的活動	<p>主な取り組み</p> <p>○予算特別委員会質疑 環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定事業 Q. 予算額は720万円。数値目標には国の目標値4.6%削減を踏まえた設定を行う方向性が示されている。 本町の取り組みは何をどの程度削減する必要があると想定されているのか。 A. 再エネ・省エネが最重要であり、計画策定で数値目標を明確にする。町民一人ひとりの協力が必要。（環境経済部長）</p> <p>○12月議会での一般質問「町民に対する次世代自動車の普及啓発活動」に関連し、体験イベントが開催されました。（右記） 計画策定と併せ、町民が次世代自動車を身近に感じ、選択肢となりうるための理解活動が課題。 ＜開催日時＞3月21日（月）祝日 11:00～16:00 ＜会場＞：役場正面駐車場 ・自動運転車両（名古屋大学と研究中）への乗車体験や小型電動車など、次世代モビリティを町民が見て・触れて・乗る機会を提供し、身近に感じる取り組みを推進中。 ・三河湾ネットワークでの放映や町 SNS での配信などにより、広く情報発信しています。</p> <p>○計画策定に対する環境経済部次長への働きかけ 「第2次環境基本計画」の策定ステップ 策定期間：令和4年度中 ・7月前後には、計画の骨格を作り、事前情報として議員も含め内容確認いただく予定 （国・県のガイドラインを基に、取り組むべき項目を網羅し、各項目の数値目標などを反映する） ・12月末までに形にする ・2月の協議会に諮る 「地球温暖化対策実行計画」も併せて策定 ・企業の取り組み状況の集約や2050年に向けマイルストーンを明確にする必要がある ・他市町でビジネスモデルができてくると本町としては有難い</p>	<p>【図や活動の様子が分かる写真など】 ＜町民への機会提供＞</p>  <p>＜ケーブル TV での放映＞</p>  <p>3月21日に幸田町役場駐車場で自動運転車両や小型電気自動車など次世代モビリティの乗車体験が行われました。</p> <p>自動運転なので当然、ハンドルを握らなくても勝手に進行方向へ曲がってくれたり、ブレーキを踏まなくても止まってくれたりします。また走行中も安定しており、乗り心地も快適！</p>
今後の活動	<p>・継続的な町職員に対する正しい知識の周知および、町議会の意識啓発と具体的施策、目標値の共有。町既存媒体を活用した町民への発信。</p> <p>・必要に応じ、県や関係団体への対策要望などの情報共有支援を継続する。</p>	